



千歯を使って脱穀を体験する園児たち＝22日、福井市洲4丁目の社中央第一子ども園

脱穀、もみすり頑張った

社中央一、二園児が体験

みんなで
読もう

福井市の社中央第一子ども園(洲4丁目)と社中央第二子ども園(運動公園1丁目)の年長児41人が22日、第一子ども園で

昔ながらの道具を使った稲の脱穀ともみすりを体験し、お米のおいしさを味わ

った。両園は食育の一環で稲作体験を行っており、春ごろに田植えを、夏ごろに稲刈りとほぎ掛けをした。今年で7回目となる。

園児たちはまず、千歯を使って脱穀を体験。農家から「力強く後ろに引っ張って」とアドバイスを受けながら真剣なまなざしで稲穂を引っ張った。小型の手動もみすり機や、すり鉢と野球ボールを使ってもみ殻を取り除き、優しく息を吹きかけて殻を吹き飛ばした。

園児は「(脱穀で)思い切り引っ張って手が痛くなった」や「ボールを使ったもみすりの方が楽しかった」と話していた。

最後に事前に精米したお米を炊いておにぎりを試食。「甘くておいしい」「や「ちよっとしょっぱかった」など感想を話していた。脱穀したお米は給食で食べる予定。(中村俊介)